

ポリナビ

岐阜県看護連盟

第2号

2012年7月20日
発行所／岐阜県看護連盟
編集者／伊佐治 哲也
〒500-8367 岐阜市宇佐南4丁目7番
1階東アミューズBR
TEL058-268-7340 FAX058-268-7345
E-mail: kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp
URL <http://www.gkr.jp/>

青年部 通信



候補予定者 石田まさひろ氏施設訪問



長屋光征県議会議員「夜勤現場 視察」

次期参議院選挙の勝利をめざして 若者の力を結集しよう

皆様こんにちは。青年部委員長の伊佐治です。日頃は青年部の活動にご理解、ご協力いただき深く感謝しております。昨年の参議院議員渡辺猛之先生からのつながりにより、県議会議員長屋光征先生が夜勤現場視察を実施されました。第4回ポリナビワークショップでは、会場の皆様のご意見を長屋先生に届けることができました。今後も引き続き皆様の生の声を届けていきたいと思っております。また、次期参議院選挙における看護職組織代表として石田まさひろさんを国政に送り出すために、我々青年部が皆様のお力をお借りして岐阜県全体を盛り上げていくつもりです。どうぞこれからも岐阜県看護連盟青年部をよろしくお願いいたします。

岐阜県看護連盟
青年部委員長 伊佐治 哲也



岐阜県看護連盟
会長 山口 絢子

この度の第2回「ポリナビ通信」が発刊されますことに感謝申し上げます。
県看護連盟青年部も着実に成長し、定例の委員会では委員それぞれが活発に意見交換し、時には笑い声も聞かれ和気あいあいに運営されております。
さて、青年部の大きな活動は、2回にわたる「夜間の看護現場の視察」です。
貴重な時間を実施頂きました参議院議員の渡辺猛之先生と岐阜県議会議員の長屋光征先生には心より感謝申し上げます。

私達が携わる看護現場には、まったく同じ現場はありません。そこで、実際に働く多くの看護師たちがそれぞれの現場の状況を国政の場に伝え、制度改革されれば、看護職はもちろん患者さまや住人の方々にも貢献できると思います。

本年6月に開催されました日本看護連盟通常総会では、次期参議院議員選挙の候補予定者に前日本看護連盟幹事長の石田まさひろ氏が決定しました。何といたっても石田氏はポリナビの生みの親ですし、若くて政策に明るく、人柄も良く、アイディアマンです。

すばらしい石田まさひろ氏をみんなの力を終結し、是非国政の場に送りましょう。
一人ひとりの認識が大きな力を生みます。若き力が必要です。看護職が一丸となってがんばりましょう。よろしくお願い致します。

岐阜県看護連盟青年部の皆さん、こんにちは。参議院議員の渡辺猛之です。平成22年12月に青年部の皆様と共に夜勤視察を行ってから既に1年半が過ぎました。その間、2度のポリナビワークショップにもお招きいただき、新人の方や管理職、或いは看護学生など多くの看護師の皆様と意見交換や情報共有をすることができました。また今年の3月に行われた第4回ポリナビワークショップにおいては、新たに岐阜県議会議員の長屋光征議員が加わり、同じく夜勤視察の報告などができたことは、まさに青年部のテーマである「つなげる・つながる・看護と政治」が結実した結果ではないかと思います。

ポリナビワークショップでのアンケートの内容や頂いたご意見を真摯に受け止め、今後とも国会議員であれ、県議会議員であれ、現場を視ることがいかに大切であるかを力説し、皆さんとのつながりをよりいっそう、太く、強いものにできるよう私も皆様の仲間として一生懸命頑張っております。



参議院議員
渡辺 猛之



岐阜県議会議員
長屋 光征

私が岐阜県看護連盟の皆さんや、看護連盟青年部の皆さんと意見交換ができるようになったきっかけは、参議院議員の渡辺猛之先生のおかげもありますが、一番大きなきっかけは自分の子供が入院していた時の看護師さんの仕事ぶりを見て看護師の仕事の大変さを知ること、なぜ医師不足は大きく取り上げられるのに看護師不足や看護師の待遇改善が取り上げられることが少ないのかに疑問を感じ、県議会で取り上げてみようと思った時、連盟の皆さんに様々なご協力をいただいたのがきっかけでした。

今年に入り夜間看護の現場視察や、ポリナビに参加させていただいたことで現場の皆さんから様々な意見をいただき、さらに看護師という仕事の重要性や大変さを知ることができましたので、今後は行政として、どうしたら皆さんがより働きやすい環境をつくれるのか、どうしたら職場復帰がしやすいかなど現場の声がより県政に届くように努力してまいりますのでご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

「第4回岐阜県ポリナビワークショップ」に参加して

第4回岐阜県ポリナビワークショップでは、当日運営側として司会のサポートなどさせていただきました。私自身が岐阜県生まれというご縁もあり、県内でポリナビ活動が始まった頃から参加させていただいているのですが、回を重ねるごとにワークショップの水準が高く、そして参加者の満足度も高くなっているように感じます。これは一重に、実行委員である青年部のメンバー一人ひとりが主体的に関わっていることが、結果として素晴らしいワークショップを運営できたのではと強く思います。

私自信、実行委員の皆さんとワークショップを創り上げる作業はとても楽しく、充実した時間でした。この様な機会を与えていただきました岐阜県看護連盟山口会長をはじめ、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。次回参議院議員選挙に向け、今後も連盟内で若手看護職の活動がより活発になることを節に願っております。本当にお疲れ様でした！



前日本看護連盟幹事
窪田 和巳

岐阜県看護連盟青年部の取り組み

1 政治家の夜勤現場の視察

平成24年2月7日に、岐阜県議会議員の長屋光征先生に中濃厚生病院にて夜勤現場視察をしていただきました。視察の前に、中濃厚生病院の看護師との意見交換を行い、生の声を聞いていただきました。意見交換会の後、夜勤現場視察を行いました。夜勤の現場では、看護師は常に忙しく働いており、認知症患者を連れて検温を行っていた現場も見たことで、長屋先生に、看護師の現状の大変さを理解していただきました。



2 第4回ポリナビワークショップを開催

平成24年3月10日(土)に、第4回ポリナビワークショップを開催しました。テーマは「つなげる・つながる—看護と政治」として、長屋先生の夜勤現場視察のVTRを見てもらい、その後長屋先生からの意見や事前アンケートを基に、看護の現場での問題について参加者と意見交換を行いました。意見交換会では、問題について参加者に色付カードを上げてもらうことで、全体の意見が反映されました。具体的な意見も多く出て有意義な時間を過ごすことができました。



POLITIC NAVIGAT

3 政治家との勉強会

岐阜県議会議員長屋光征先生には看護師の子育て環境改善の取り組みについて、また、県立病院の院内保育所について、また、参議院議員渡辺猛之先生の秘書大東様からは、国会で取り組まれている看護問題についての情報を提供していただきました。今後、我々青年部メンバー自らテーマを持ち寄り、ミニ勉強会を行い、議員に講師となってもらい、政治について学んでいます。

子育て支援へ
院内保育拡充
長屋 光征議員
(自民・岐阜市)
| 看護師の子育て環
境改善の取り組みは、
健康福祉部長 県立
3 病院では、育児中
の努める。

看護師の夜勤免除や育児休業制度の充実に務め、仕事と子育ての両立に努めている。院内保育は、多治見病院で病児・病後児保育を開始、総合医療センターでは来年2月から24時間保育を始める予定。| 受け入れ年齢の引き上げなど、学童保育の拡充は、健康福祉部長 学童保育は、子育てと仕事の両立を支援する重要な事業。過疎地の少数クラブや夏休みのみの開設クラブへの単独補助や、長時間開設や障がい児受け入れクラブへの運営費加算など、きめ細やかに支援。| ここ2年間で障がい児受け入れ数は137人から225人に増加した。受け入れ年齢引き上げも市町村に働き掛け、小学4年以上は847人から1339人増加。今後も拡充に努める。



4 広報活動として「ポリナビ通信」を定期的に発行(1回/年)

昨年から引き続き、「ポリナビ通信」を通して我々青年部の活動報告をしていきたいと思えます。

5.ポリナビワークショップを年1回開催します。

- 一人ひとりの意見を尊重し、看護に関する問題を様々な視点から検討可能にすることで、問題解決へ向けて取り組んでいます。
- 第一線での現場での現状の把握や新規問題を共有化することで、活動内容を最適化します。
- その他にも、各施設での研修会にて新たな問題提起を促します。



これからも、看護職、一人ひとりの力が必要。そして、各個人の意見が反映されるために、青年部は活動して行きます。

■第4回ポリナビワークショップのアンケートの集計・分析を行った結果、看護職の抱える問題がわかりました。今後も青年部を通して問題定義をしていく必要性を感じました。

■アンケートのご意見は・・・

- ・政治と看護のつながりを知ることが出来た。
- ・現場の声を届ける事が改善につながるし、人材確保・現場環境改善につながると思った。
- ・議員さんの思いや考えを直接聞くことが出来た。
- ・・・など、多くのご意見をいただくことが出来ました。

他のご意見やアンケート結果が知りたい方は、前述のホームページアドレスにアクセスして見てください。

ORS NETWORK

青年部メンバーの紹介



委員長
伊佐治 哲也
(木沢記念病院)



最初は、ポリナビ? 政治? という状態でスタートしました。今では、政治の重要性や現場の声を届けることの責任を感じ、我々自身も学びを深めています。そんな緊張感と同時に、仲間と楽しく活動することも大切にしています。是非皆さんも我々の活動に参加しませんか?

委員
森下 真哉
(高山赤十字病院)



岐阜県看護連盟青年部では、毎年、ワークショップ で看護職同士の活発な意見交換ができていて、やりがいを感じています。また、政治家との病院視察では、政治的な視点での意見や、法律上の解決方法を知ることができ、学びを深めています。これからも、青年部では、自分出来ることを考えていきたいです!

委員
堀込 佳代子
(久美愛厚生病院)



「看護連盟って…? ポリナビって…? ?」という感じでした。まだわからないことばかりですが、メンバーと楽しく活動しています。

副委員長
横幕 泉
(東海中央病院)



楽しく頑張りましょう
よろしくお願いします

書記
多賀 裕佳子
(岐北厚生病院)



青年部が出来た時から参加させてもらっています。看護や医療と政治の関わりや、連盟の活動について学んでいます。今後も若手が参加しやすい連盟になるように活動していきたいです。

委員
吉川 美津子
(岐阜大学医学部附属病院)
8月から新しくメンバーに参加します。



委員
小倉 幸雄
(揖斐厚生病院)



青年部として活動させていただいています。当初はなににもわからない状態でしたが数年間の青年部の活動を通して看護師のおかれている現状を理解出来るようになりました。今後も地道に活動していきたいと思っています。

委員
松尾 英朗
(揖斐厚生病院)



揖斐厚生病院に勤務しています松尾です。皆さんの仕事をより良いものに変えていけるように頑張ります。よろしくお願いします。

委員
田部 みほ
(西美濃厚生病院)

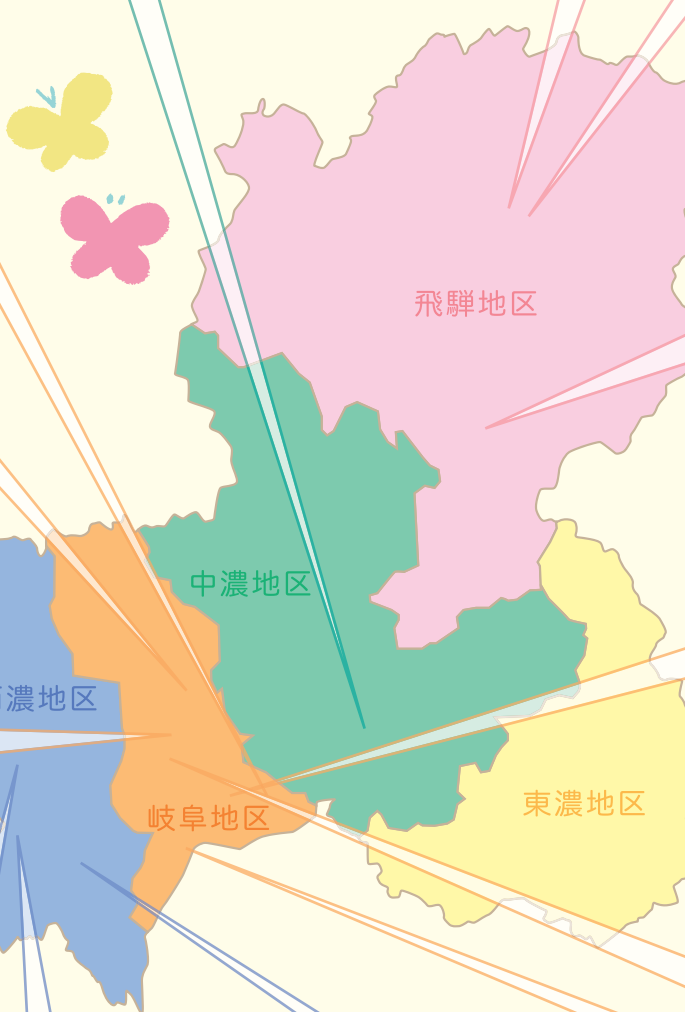


連盟として活動して3年になります。つなげる、つなげる看護と政治をテーマにこれからもみなさんとともに頑張っていきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

委員
坂口 友和
(松波総合病院)

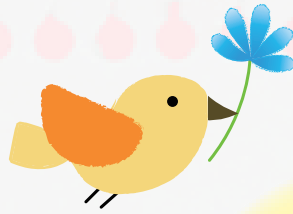


看護の現場、変えて欲しいことはありませんか? それは政治で変わるかもしれませんが。看護連盟青年部は看護と政治の掛け橋になりたいと思います。皆さんよろしくお願いいたします。



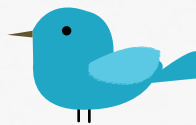
Q ポリナビ(青年部) の 目的って何?

- ・皆さん専門職として今の看護に満足していますか?
- ・看護職の環境を変えたいと思ったりしませんか?



A.

こんな看護職の悩み、現場での問題を少しでも解消すべくワークショップや研修会を開催し、看護について話し合える環境の提供。又、政治と政策のしくみを学び、現場の声を自分達の問題として提起したり、情報交換により問題の共有、又解消方法(個人として出来ること、職場で組織的に考えること、政治の力が必要なこと)等を検討したり、ワークショップの開催をします。



今後の活動

- 第5回ポリナビワークショップの開催(予定)
日 時 平成25年3月16日(土)
タイトル 「つながる・つなげる-看護と政治」
会 場 ホテルグランヴェール岐山
主 催 岐阜県看護連盟



その他

- ホームページと連絡先の紹介
岐阜県看護連盟ホームページ→<http://www.gkr.jp/>
岐阜県看護連盟本部のメールアドレス→E-mail:kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp
こちらからもアクセス出来ます→



編集後記

「ポリナビ通信」第2号を発刊し、平成23年度青年部の活動のまとめを会員の皆様に報告出来ますことを委員一同嬉しく思います。又、この1年間私達の活動にご理解とご協力を賜りました参議院議員 渡辺猛之先生、県議会議員 長屋光征先生には心から感謝致します。

①「夜勤現場」の視察をしていただいた事②「ポリナビワークショップ」ではフロアーとの意見交換会および情報の共有が出来た事などは目の前にある諸問題に対して逃げないで向かっていく活動の第一歩です。一人ひとりの情熱が大きな力をうみだす事を信じ、無理はしないで楽しく学び、活動したいと思います。今後ともご協力よろしくお願い致します。

青年部編集委員 森下真哉 加藤学
青年部顧問 小原万千子